

平成 30 年度 広島県管理河川大規模氾濫時の減災対策協議会  
(北部建設事務所管内)  
議事概要

日 時：平成 31 年 2 月 1 日（金）11：00～11：40

場 所：広島県三次庁舎 第 3 庁舎 102 会議室

出席者：別紙出席者一覧のとおり

【会議概要】

平成 30 年 7 月豪雨を踏まえた課題及び対応策について了承した。

【意見交換等】

- 三次市：当協議会の対象区域の河川については、平成 30 年度までに想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成すると聞いていたが、平成 30 年 7 月豪雨を受けて今後どのように進めていくのか。  
北部建設事務所：平成 30 年 7 月豪雨を受けて、洪水浸水想定区域図の作成を中断したため、平成 30 年度中の完成は困難である。すでに作成を再開しており、できるだけ早期に完成させる。
- 三次市：平成 30 年 7 月豪雨では、市内で 37 箇所の避難所を開設したが、行政だけでは対応が難しい。今後は自主防災組織による避難所の開設等も行う必要がある。  
事務局：平時の避難訓練において、自主防災組織による避難所の開設・運営を含めて実施していきたい。
- 三次市：別添資料の「今後の治水対策のあり方」の中で、三次市に関係する部分はどこか。  
事務局：5 河川をモデル河川として「あり方検討会」で分析を行い、そこで得られた知見を他の県管理河川にも展開していく。
- 三次市：平成 30 年 7 月豪雨では、三次市は内水により大きな被害を受けた。内水対策は住民にとって大きな課題であるにもかかわらず、今回整理した課題に入っていないのは違和感がある。  
事務局：取組方針の見直しに当たっては、今回の御意見を踏まえて対応を検討する。
- 三次市：平成 30 年 7 月豪雨の際、三次市内の三川合流域ではあと少しのところまで越水を免れた。ダムは適正に操作を行えば被害防止に大きく貢献するものと考えている。
- 三次市：河川内の堆積土の浚渫は極めて重要である。土砂の処分の課題等があると思うが、ぜひ進めてほしい。  
事務局：「河川内の堆積土除去計画」はあるが、大きな出水があると土砂の堆積状況が変わる。現状を把握し、必要な箇所を重点的に実施していく。  
三次市：浚渫は、住民の目に見える当面の措置として重要であるので、願います。

平成30年度 広島県管理河川大規模氾濫時の減災対策協議会（北部建設事務所管内）  
出席者名簿

<委員>

所 属	委 員	出 席 者		備 考
		役 職	氏 名	
三次市	市 長	市 長	増 田 和 俊	
庄原市	市 長	生 活 福 祉 部 長	兼 森 博 夫	代 理
国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所	事 務 所 長	事 務 所 長	道 中 貢	
気象庁 広島地方气象台	台 長	次 長	清 水 直 幸	代 理
広島県 土木建築局	局 長	道 路 河 川 管 理 課 長	黒 川 幸 雄	代 理
広島県 北部建設事務所	所 長	所 長	中 本 俊 幸	
広島県 北部建設事務所庄原支所	支 所 長	支 所 長	樋 口 稔	

<オブザーバー>

所 属	出 席 者		備 考
	役 職	氏 名	
国土交通省 中国地方整備局 河川部	地 域 河 川 課 長 補 佐	松 本 倫 明	